

新除草・調節剤

メゾラニール水和剤

C-7019 除草剤

(取扱メーカー) クミアイ化学工業株式会社

武田薬品工業株式会社

対象作物; カンラン

性状・作用特性; 本剤は、2-アシド-4-イソプロピルアミノ-6-メチルチオ-8-トリアジン(アジプロトリン)50%を含む水和剤で、土壌処理効果と茎葉処理効果とを合わせもつ薬剤である。したがって、雑草に対しては、一部は根から、一部は茎葉から吸収され、殺草効果を発揮するので、カンラン定植畑の雑草発生前から2~3葉期までならいつでも使用する

ことができ、処理適期幅がきわめて広い。残効性は比較的長く、通常の使用で30~50日と思われ、秋まきカンランでは作付期間をほぼ完全に除草できる。対象雑草は、多年生のものを除く一般畑雑草である。

人畜毒性は低く、急性経口毒性 $LD_{50} = 2970 \text{ mg/Kg}$ (マウス), $LD_{50} = 3600 \text{ mg/Kg}$ (ラット) である。

使用方法; カンランに対しては、選択的に吸収被害がないので、活着の如何を問わず、定植直後から全面処理することができる。作付面積の広大なところでは、多頭口噴霧機等により、能率的な散布が可能である。使用量は、10a当たり300~400gが適当で、所定量の懸濁液として加圧式噴霧器で散布する。

編集後記

うっとおしい梅雨もあけ、やがて酷暑がおとずれる。不快指数100……、梅雨あけから暑夏へ移行するときは、誰でも身体の不調を訴えているに違いない。

最近、都市周辺で光化学スモッグが問題になっているが、植物に対する影響もきわめて強く、葉縁がちぢれ上がり、落葉現象をもたらした。ところで、雑草に対する影響はどうであろうか。目下のところ、植物に対する影響という面では、関係当局が調査中のようなのであるが、その結果がでるのは、まだまだ先のようなのである。

ところで、除草剤の場合、土壌処理によって種子の発芽を抑制するもの、茎葉処理によって植物の機能を変化させるもの等、種々のものがあるが、未だ、オゾンによるものは考えられて

いない。それは、除草剤が、人畜に害を与えることなく、農業生産活動に利益をもたらすものでなければならないからである。人畜に害を与えるような薬剤は、いかに殺草効果がすぐれていても、その実用化、普及に支障をとまらうので、人畜に無害な薬剤を開発しなければならない。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都港区芝西久保桜川町26番地

電話 東京(03)502-4188(代)

昭和45年7月発行

植調第4巻第3号 ¥70(送料35)

編集人 日本植物調節剤研究協会会長 河田 党

発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

東京都港区芝愛宕町1-3, 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03)436-3388番